



エコアクション21 環境活動レポート

対象期間 2015年4月1日～2016年3月31日



ASPEC
株式会社アスペック

2016年9月14日 作成



【目次】

1. 組織概要	1
2. 認証・登録の対象組織・活動	2
3. 主な実績	3
4. 環境方針	4
5. 環境目標及びその実績	5
6. 環境活動計画	6 - 7
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	8 - 12
8. 環境関連法規制の遵守状況	13
9. 代表者による全体の評価と見直し	14



1. 組織の概要

● 事業者名及び代表者名

株式会社 アスペック 代表取締役 楠 茂夫

● 所在地

本 社 長野県長野市大橋南二丁目15番地
資材倉庫 長野県長野市真島町真島字梵天東沖1148他

● 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 楠 茂夫
担当者及び連絡先 工事部工事課 荒井勇治 電 話: 026-283-2051
総務部総務課 西澤真由理 FAX: 026-284-8699
HP : <http://kk-aspec.co.jp/>
E-mail: info@kk-aspec.co.jp

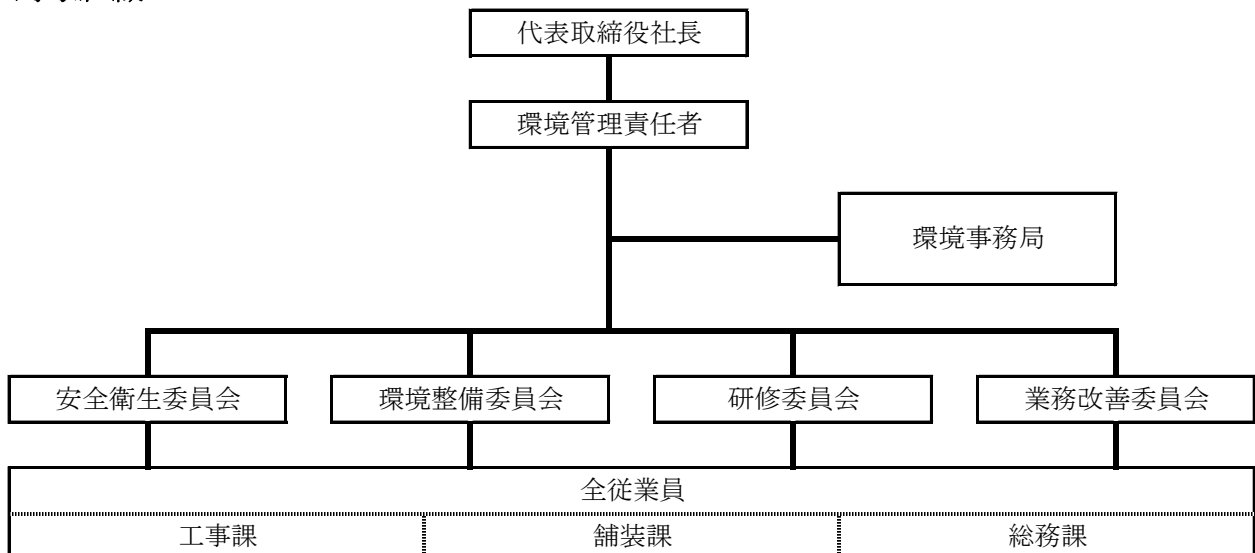
● 事業内容

- ・建設業 (主に土木工事、舗装工事及び側溝補修)
- ・産業廃棄物収集運搬業

● 事業の規模

設立年月日 平成 4年 1月 1日
資 本 金 5,000 万円
売 上 高 1,376 百万円
第25期(平成27年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日)
従 業 員 30 名
延べ床面積(本社) 1,139 m²
敷地面積(資材倉庫) 1,976 m²

● 対象組織



2. 認証・登録の対象組織・活動

● 対象範囲(認証・登録事業者名)

登録事業者名	株式会社アスペック
対象事業所	本社・資材倉庫(常駐者なし)、全組織・全活動・全従業員を対象
活動範囲	土木工事業、舗装工事業、道路側溝補修業 及び 産業廃棄物の収集運搬

● 許可の内容

◆ 建設業

許可番号	長野県知事 特一26 第17532号
許可の有効期限	平成27年 2月17日 ~ 平成32年 2月16日
建設業の種類	土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、造園工事業、水道施設工事業

◆ 産業廃棄物収集運搬業

許可番号	長野県知事 第2008056549号
許可の有効期限	平成25年10月12日 ~ 平成30年10月11日
建設業の種類	がれき類、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは自動車等破砕物を除く)

● 施設等の状況

積替え保管	なし
運搬車両の種類と台数	2tダンプ 3台
	3tダンプ 3台
	3. 5tダンプ 1台
	4. 2tダンプ 1台
	7. 3tダンプ 2台

3. 主な実績

● 環境負荷の実績

項目	単位	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	254,447.1	228,285.7	207,489.4
電力(事務所)	kWh/年	31,934.0	27,682.0	25,895.0
灯油(事務所)	ℓ/年	2,508.4	2,042.5	1,964.3
ガソリン(現場)	ℓ/年	21,104.9	19,298.0	17,440.1
軽油(現場)	ℓ/年	68,234.9	59,842.6	54,459.3
廃棄物排出量				
一般廃棄物(事務所)	kg/年	244.1	183.8	181.8
産業廃棄物(現場)	t/年	2,086.3	1,064.5	3,612.2
総排水量(事務所)	m ³ /年	254.0	361.0	369.0
グリーン購入(事務所)	%/年	目標値設定(40%)	56.0	40.0
ネプラス工法(現場)	件/年	12	15	1

※購入電力の排出係数は、平成26年度の二酸化炭素排出係数：中部電力 0.497(kg-CO2/kWh)

※井戸水は排水量に含まれていない。

● 収集運搬の実績

項目	2013年度	2014年度	2015年度
がれき類	337.3 t	223.4 t	161.7 t
廃プラスチック類	0.0 t	0.0 t	1.8 t
金属くず	1.3 t	0.5 t	0.0 t
木くず	0.0 t	3.3 t	0.5 t

4. 環境方針

環境理念

アスペックは舗装工事を主とした土木関連事業を通じ、企画提案力と顧客最優先のサービスで地域社会に貢献する建設会社として、当社が掲げる『明るい職場と家庭の繁栄を創造します』の経営理念に繋がる、地球環境の保全を企業活動の最重要使命とします。

環境方針

私たちは、これからの地球環境との調和を図れる技術の推進、環境保全が重要課題との認識に立ち、次世代を担うにふさわしい専門工事業者として、環境に配慮した職場づくりと、一人ひとりの社員が主役の環境貢献活動が不可欠であることを念頭に、常に新しい創造性に挑戦し、循環型社会の一翼を担う企業として、自主的・積極的に環境への取り組みを推進します。

行動計画

- 1 具体的に次のことに取り組みます。
 - 1) 電力・自動車及び重機械燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 建設資材の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再利用化)の推進
 - 3) 水資源の節水
 - 4) 事務用品のグリーン購入
 - 5) コピー用紙の削減
 - 6) 環境に配慮した施工(ネプラス工法)の推進

- 2 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

制定日 2010年10月26日
改定日 2010年11月18日
改定日 2011年 4月15日

代表取締役社長 楠 茂夫

5.環境目標及びその実績

環境目標項目	単位	基準値		過去の実績		今年度	中長期目標	
		2012年度		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	247,588.0	削減率	6%	8%	9%	10%	11%
			目標	232,732.7	227,781.0	225,305.1	222,829.2	220,353.3
			実績	254,447.1	228,285.7	207,489.4	—	—
電力使用量 <small>購入電力の排出係数は平成26年度の二酸化炭素排出係数：中部電力0.497(kg-CO₂/kWh)</small>	kWh	39,218.0	削減率	6%	8%	10%	12%	14%
			目標	36,864.9	36,080.6	35,296.2	34,511.8	33,727.5
			実績	31,934.0	27,682.0	25,895.0	—	—
灯油使用量	L	2,773.6	削減率	6%	8%	10%	12%	14%
			目標	2,607.2	2,551.7	2,496.2	2,440.8	2,385.3
			実績	2,508.4	2,042.5	1,964.3	—	—
ガソリン使用量	L	19,609.2	削減率		4%	6%	8%	10%
			目標	19,609.2	18,824.8	18,432.6	—	—
			実績	21,104.9	19,298.0	17,440.1	—	—
	原単位 (L/百万円)	353.4	目標	210.5	202.1	197.9	193.7	189.4
実績	210.5		268.2	257.4	—	—		
軽油使用量	L	63,961.1	削減率		4%	6%	8%	10%
			目標	63,961.1	61,402.7	60,123.4	—	—
			実績	68,234.9	59,842.6	54,459.3	—	—
	原単位 (L/百万円)	1158.6	目標	1,158.6	1112.3	1,089.1	1,065.9	1,042.8
実績	672.3		866.3	762.5	—	—		
一般廃棄物排出量	kg	201.8	削減率	2%	4%	6%	8%	10%
			目標	197.8	193.7	189.7	185.7	181.6
			実績	244.1	183.8	181.8	—	—
産業廃棄物排出量	t	3,640.8	削減率	2%	4%	6%	8%	10%
			目標	3,568.0	3,495.2	3,422.4	—	—
			実績	2,086.3	1,064.5	3,612.2	—	—
	原単位 (t/百万円)	4.1	目標	4.1	3.9	3.9	3.8	3.7
実績	1.5		0.7	3.5	—	—		
総排水量 <small>井戸水はこの排水量に含まれていません</small>	m ³	309.0	削減率	4%	6%	8%	10%	12%
			目標	296.6	290.5	284.3	278.1	271.9
			実績	254.0	361.0	369.0	—	—
グリーン購入の推進	%	—	増加率	—	10%	15%	20%	25%
			目標	基準値 65.0	75.0	80.0	85.0	90.0
			実績	—	56.0	40.0	—	—
ネプラス工法の推進	件	—	増加率	4件	6件	8件	10件	0件
			目標	12	14	16	18	0
			実績	12	15	1	—	—

6.環境活動計画

電力使用量削減

担当部署:総務部

①エアコンの温度管理

使用目的	使用期間	温度
冷房	6月下旬～9月	26℃
暖房	暖房機が故障した場合のみ使用	22℃

②不在時のパソコンオフと省電力機能設定

③昼休み時の消灯

消灯時間	12:00～13:00の1時間
------	-----------------

④エアコン、照明器具の定期清掃

⑤時間外における部分点灯

時間外勤務時における照明は、必要最小限の範囲のみとする

⑥環境に対応したOA機器へ購入の検討

⑦クールビズ・ウォームビズの実施

⑧全館LED照明への切替

灯油使用量削減

担当部署:総務部

①暖房機(ファンヒーター、ストーブ)の温度管理

使用期間	温度
11月～4月	21℃+2℃以下

②灯油の給油時期の管理と使用前に点検清掃

③不使用時の電源オフ

使用しない期間	5月～10月
---------	--------

④ウォームビズの実施

ガソリン・軽油使用量削減

担当部署:工務部

①車両の適正運転(エコドライブの推進)

現場に見合った重機の選定、不必要な道具の積載禁止等

作業日報の環境項目欄にチェックをし環境意識を高める

環境に配慮した運転「エコドライブ」で燃費を向上させ、二酸化炭素などの排出量を減らす

②アイドリングストップの励行

③車両・建設機械の定期点検

定期的な点検整備をして、燃費と安全性を向上させる

オイル交換をこまめにして、燃費を向上させる

④効率的なルートを選択

カーナビを積極的に使用し、効率的な営業ルートを選択を行って走行距離・時間を短縮する

⑤建設機械の対策型機種 of 優先使用と購入の検討

⑥機械操作の向上

⑦ハイブリット車に全車変更

①ごみの排出量の把握と管理

把握方法	ごみの回収前に必ず計量
------	-------------

②ペーパーレス化

複写機の機能(スキャナ機能、両面・集約印刷)を積極的に利用する

③リサイクルの徹底

社内書類は裏紙(機密文書は除く)を使用する

両面使用済の用紙はリサイクルにまわす

④ごみの分別の徹底

従業員の分別意識が向上するよう、分かりやすくポスターなどを掲示

法定保存年限が経過した帳簿書類等は、随時処分する

廃棄物の重量の視覚化

ごみ分別時に重量を計測し表に記入することで、数値を視覚化する

産業廃棄物排出量削減

担当部署: 工務部

① 廃棄物の適正処理

マニフェストにより適正処理し、許可を受けた産廃処理委託業者に引き渡す

② 産廃排出量の把握

把握方法	産業廃棄物管理票(マニフェスト)による把握
------	-----------------------

③ 分別のルール

現場	施工場所で分別してから運ぶ
第1資材ヤード	燃えるもの、廃プラ、木くず、金属くずに分ける

④ 3R活動

Reduce(リデュース): 減らす Reuse(リユース): 再利用する Recycle(リサイクル): 再資源化する

総排水量削減

担当部署: 総務部

① 日常的な節水

節水のステッカーを貼り、節水の意識を高める

② 井戸水のメーターの管理

※井戸水は排水量に含まれていない

③ 水漏れの点検と管理

総務部で点検を行い、水漏れ等の不具合があった場合はすぐに対応する

④ 使用後は確実に栓を締める

グリーン購入の推進

担当部署: 総務部

① エコマーク商品の優先購入

購入前に購入の必要性を十分に考慮する

品質や価格だけではなく、環境負荷ができるだけ小さい商品を選び購入

② 使用済みカートリッジ等の処理

購入先より回収してもらいリサイクル

③ 詰替え商品を選ぶ

詰替えができる商品(本体)を購入し、リサイクル化とごみの削減を図る

ネプラス工法の推進

担当部署: 工務部

① 受注先、現場でのネプラス工法の提案

公共工事	道路改良工事、側溝改良工事、道路維持修繕工事等
環境	建設廃材80%削減、掘削残土は100%削減、CO2排出量77%削減
リサイクル	側溝の使える部分(上部以外の部分)は利用

② ホームページで情報の公開

当社ホームページ <http://kk-aspec.co.jp> にて施工実績やネプラス工法について詳しく掲載

③ ネプラス工法の講習会への参加

講習会に出席することで、業界内での情報交換などを行う

7.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

二酸化炭素排出量削減

担当部署:総務部

★取組結果

目標 225,305.1 kg-Co2	→	本年度実績 207,489.4 kg-Co2	達成率 109%	評価 ◎
		目標値に対する実績値 -17,815.7 kg-Co2		
		前年度実績 228,285.7 kg-Co2	前年度実績値に対する 本年度実績値 -20796.3 kg-Co2	

★総合評価

1. 売上高、工事量共に増加しているが、二酸化炭素排出量削減の目標を達成できたことは、十分評価できる結果となった。

★次年度の取組

1. 今後も環境活動への従業員の意識向上と推進を図る。
2. 今回の結果をバネにして、次年度も目標を達成できるような取組を続けていきたい。

電力使用量削減

担当部署:総務部

★取組結果

目標 35,296.2 kWh	→	実績 25,895.0 kWh	達成率 136%	評価 ◎
		目標値に対する実績値 -9,401.2 kWh		
		前年度実績 27,682.0 kWh	前年度実績値に対する 本年度実績値 -1787.0 kWh	

★総合評価

1. 前年度末に照明設備をLED照明にしたことによる、効果が確認できる結果となった。
引き続き、活動目標を実施していきたい。

★次年度の取組

1. 通常労働時間外での使用を、出来るだけ削減できるような、効率の良い業務の割り振りや現場職員が事務所で、出来るだけ業務時間が取れるような取組をしていけたら良いと思う。

灯油使用量削減

担当部署:総務部

★取組結果

目標	実績	達成率	評価
2,496.2 L	1,964.3 L	127%	◎
	目標値に対する実績値 -531.9 L		
前年度実績 2,042.5 L		前年度実績値に対する 本年度実績値 -78.2 L	

★総合評価

- 主に、灯油は、事務所内での使用がほとんどだが、昨年度に続いて、2年連続で削減できた。2年前に行った、二重サッシの効果が確認できる結果となった。

★次年度の取組

- 暖房機(ファンヒーター、ストーブ)の温度管理
- 灯油の給油時期の管理
- 暖房機器の点検清掃
- 不使用時の電源オフ
- 温度指標計の設置と室内湿度管理
- ウォームビズの実施

ガソリン使用量削減

担当部署:工事部

★取組結果

目標	実績	達成率	評価
197.9 原単位(L/百万円)	257.4 原単位(L/百万円)	77%	○
	目標値に対する実績値 +59.5 L		
前年度実績 268.2 L		前年度実績値に対する 本年度実績値 -10.8 L	

★総合評価

- 年度当初に、見積り業務や、準備作業等でガソリンの使用料が増加した。
- 作業場所、工事量等に左右されるため使用量の削減は難しいが、引き続き削減に向け努力する。

★次年度の取組

- 車両・重機の適正運転(エコドライブの推進)
- 車両・重機の定期点検
- 燃料向上車への入替えの検討
- 次年度の結果を見て、目標値の再設定を視野に入れる。
- 低燃費車の購入と使用
- 運行記録管理等の実施による、燃費の見える化

軽油使用量削減

担当部署: 工務部

★取組結果

目標	実績	達成率	評価
1,089.1 原単位(L/百万円)	762.5 原単位(L/百万円)	143% -326.6 L	◎

前年度実績 866.3 L	前年度実績値に対する 本年度実績値 -103.8 L
---------------------	----------------------------------

★総合評価

1. 年度当初、短期間で終わる工事が多く、売上が伸びず、原単位では目標を達成できなかったが、最終的には、全体的に目標を達成できたため、良い結果となった。
2. 作業場所、工事量等に左右されるため使用量の削減は難しいが、引き続き削減に向け努力する。

★次年度の取組

- 車両・重機の適正運転(エコドライブの推進)
- 効率的なルートを選択
- 車両・重機の定期点検
- 排出ガス対策型機械の優先使用と購入
- 運行記録管理等の実施による、燃費の記録管理と見える化

一般廃棄物排出量削減

担当部署: 総務部

★取組結果

目標	実績	達成率	評価
189.7 kg	181.8 kg	104% -7.9 kg	◎
		再資源化率 71.9%	

前年度実績 183.8 kg	前年度実績値に対する 本年度実績値 -2.0 kg
----------------------	---------------------------------

★総合評価

1. 前年に続いて、事業系紙ごみを再資源化したため、再資源化率は71.9%となった。引き続き、分別の徹底とリサイクルによる再資源化量を増加させていく。

★次年度の取組

- ごみの排出量の把握と管理
- ごみの分別の徹底
- ペーパーレス化の推進
- 事業系紙ごみの再資源化率の表示と評価

産業廃棄物排出量削減

担当部署: 工務部

★取組結果

目標	➔	実績	達成率	評価
3.9 原単位(t/百万円)		3.5 原単位(t/百万円)	112% -0.4 L	◎
		前年度実績 0.7 L	前年度実績値に対する 本年度実績値 +2.7 L	

★総合評価

1. 排出量は工事内容により左右されるが、従業員の分別意識の向上や、安全パトロールでの確認を行い引き続き、削減に努めていく。

★次年度の取組

- 廃棄物の適正処理
- 産廃排出量の把握
- 5R活動
- 分別のルールの周知徹底

総排水量削減

担当部署: 総務部

★取組結果

目標	➔	実績	達成率	評価
		369.0 m ³		
		前年度実績 361.0 m ³	前年度実績値に対する 本年度実績値 +8.0 m ³	

★総合評価

1. 前年同様、1階テナントの使用量が把握できないため、正確な水量が確認できなくなった。
しかし、前年度と比較すると使用量の変化がほとんどなかったため、さらなる削減に努めたい。
2. 使用状況をチェックし、ルールを守ることによって引き続き削減に取り組んでいく。

★次年度の取組

- 日常的な節水
- 井戸水のメーターの管理
- 水漏れの点検と管理

グリーン購入の推進

担当部署:総務部

★取組結果

目標	実績	達成率	評価
80.0 %	40.0 %	50%	×
前年度実績 56.0 %		前年度実績値に対する 本年度実績値 -16.0 %	

★総合評価

1. グリーン購入商品もかなり選定されてきているため、新たな商品の購入も限度があるように思われる。
2. リスト表等を活用し、グリーン購入への理解を深め、グリーン購入率向上に向け努力してく。

★次年度の取組

- エコマーク商品の優先購入
- 詰替え商品を選ぶ
- 使用済みカートリッジ等の処理

ネプラス工法の推進

担当部署:工事部

★取組結果

目標	実績	達成率	評価
	1.0 件		
前年度実績 15.0 件		前年度実績値に対する 本年度実績値 -14.0 件	

★総合評価

1. 体制の変更により、施工を請負うのみのサブパートナー契約となったため、施工件数の増加が困難となった。

★次年度の取組

- 受注先、現場でのネプラス工法の提案
- ホームページで積極的に公開
- パンフレット等の活用

9. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用法	要求事項	遵守状況の確認及び評価の結果
廃棄物処理法	委託契約の書面	○
	マニフェストの管理	○
	実績報告書	○
	産業廃棄物収集運搬業許可証 (平成25年10月12日 更新許可)	○
資源有効利用促進法	再生資源利用促進計画書	○
建設リサイクル法	対象工事における再資源化等報告書	○
騒音規制法	特定建設作業実施届出書	○
振動規制法	特定建設作業実施届出書	○
自動車リサイクル法	引き渡し時における適正な処理(リサイクル券)	○
家電リサイクル法	引き渡し時における適正な処理(リサイクル券)	○
消防法	本来の使用目的以外で使用しない	○
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択する	△

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規の遵守状況は、7月に環境管理責任者を中心として確認し調べた結果、環境法規への違反はありませんでした。

また、関係機関からの指摘、違反、訴訟等はありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

● 全体評価

(1) 環境方針

環境方針についての変更はありません。

(2) 環境関連法規等の遵守状況

法規等の遵守評価については問題ありません。

(3) 環境目標の達成状況

工事量、売上高ともに増加していますが、ほとんどの項目の値が削減できています。

(4) 環境活動計画の実施状況

スケジュール通りに実施されています。

(5) 環境負荷の自己チェック結果

化石燃料が大半をしめているのがわかります。

引き続き、削減に努めて下さい。

(6) 外部からの苦情等への対応

特にありません。

(7) その他

特にありません。

● 見直しの結果

1. 化石燃料削減に向け、手直し工事ゼロを目標に施工を行っていきましょう。
2. 各自の技能向上により、作業効率をあげ、Co2排出量の少ない工事をめざしましょう。
3. 使用機械、車両の整備を行い、必要があれば、低排出ガス対策型の機械や、ハイブリッド車や低燃費車両の購入を検討する。

8.環境保全活動

清掃活動

◎事業所周辺

毎月1回の清掃活動のほか、年2回は範囲を広げて会社周辺の清掃活動を実施



公衆災害防止活動

◎安全大会

環境汚染に繋がる公衆災害を事前に防止するために、重機械の日常点検の研修の実施



環境教育

◎外部講師による社員教育



長野自動車学校
交通安全講習



長野市元気なまちづくり市政出前講座
事業所のごみ減量と再資源化について